

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校麻生看護大学校
設置者名	学校法人 麻生塾

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程	看護科	夜・通信	240	240	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/anc/2019/kyoin.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校麻生看護大学校
設置者名	学校法人 麻生塾

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/aso/2019/directors.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社麻生 飯塚病院 院長	平成31年 3月1日～ 令和5年2 月28日	麻生塾の運営状況に関する情報について、現状を十分に把握した上で参画し、運営に多様な意見を取り入れる観点から、より俯瞰的な立場で意見を述べる。
非常勤	株式会社麻生 専務取締役	平成27年 10月10 日～令和元 年10月9 日	麻生塾の運営状況に関する情報について、現状を十分に把握した上で参画し、運営に多様な意見を取り入れる観点から、より俯瞰的な立場で意見を述べる、
非常勤	麻生商事株式会社 代表取締役会長	平成27年 10月10 日～令和元 年10月9 日	麻生塾の運営状況に関する情報について、現状を十分に把握した上で参画し、運営に多様な意見を取り入れる観点から、より俯瞰的な立場で意見を述べる、
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校麻生看護大学校
設置者名	学校法人 麻生塾

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画書(シラバス)は以下のとおり作成及び公表している。</p>	
<p>○教育課程(カリキュラム)の編成 前年度のカリキュラムの実施状況と成果の検証を行い、前年の6月に開催される、飯塚病院、福岡県社会保険医療協会等からなる教育課程編成委員会で授業方針や教育課程(カリキュラム)の内容、到達目標について意見を聴取し、その後行われるカリキュラム会議において、聴取した意見を基に討議し、教育理念・学科の目標、業界ニーズに照らし合わせ、次年度のカリキュラムを編成する。</p>	
<p>○授業計画書(シラバス)の策定 カリキュラム会議により確定したカリキュラムを基に、各授業科目担当が2月までに「学校法人麻生塾シラバス作成ガイドライン」に則り、授業計画書(シラバス)を作成している。シラバスには、授業目標・授業概要・授業計画・評価方法等を記載しており、履修する学生が各授業科目の内容と目標を理解し、主体的に学ぶことが出来るようになっている。</p>	
<p>○授業計画書(シラバス)の公表 確定したカリキュラム及び授業計画書(シラバス)は、Webページに公開するとともに、学生に授業開始時に説明を行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/anc

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価・単位履修認定については、学則及び「科目履修の認定・卒業に関する規程」等の定めに基づき実施している。</p> <p>○授業科目に対する成績評価 成績評価は、学科試験・実習評価に、出席状況・日常の学習状況・学習報告などを考慮して行う。学習状況については、随時行う筆記、口頭試問、レポート及び実技などのいずれか、又はこれらを総合したものとする。科目毎の評価方法は、シラバスに記載した評価方法に基づき行う。また、評価については、授業科目の「到達目標」に応じて、定期試験（追試験、再試験を含む）および学習状況を総合的に勘案した総合評価とする。特に定めがない場合、100点を満点として、60点以上を合格、60点未満を不合格とする。</p> <p>○履修認定について 所定の科目の単位を履修し、その科目の評価で合格した者には履修認定をする。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学修成果を総合的に判断する指標として、履修科目の成績評価の平均点を算出している。</p> <p>○対象科目 開講する全ての授業科目を対象とする。但し、次に掲げる授業科目は除外とする。 1. 既修得単位として認定された科目</p> <p>○平均点の算出方法 履修科目の成績評価を点数化（100点満点で点数化）し、全科目の合計点の平均を算出し、成績分布を作成する。</p> <p>○算出方法の公表 客観的指標の算出方法をWebページに公開するとともに、学生に対しても授業開始時に説明を行っている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/anc/2019/gr_06.pdf</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では、教育理念を基にディプロマポリシーを下記のとおり定め、学則及び「科目履修の認定・卒業に関する規程」に基づき、適切に実施している。</p> <p>○ディプロマポリシー</p> <p>本校では、教育理念および教育目標（育成人材像）を踏まえ、次のような人材を社会に輩出いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人間を統合された存在として理解した上で、倫理観に基づいた看護を実践できる人 2 科学的根拠に基づき、看護を計画的・効率的に実践できるよう探究心を身につけた人 3 看護の独自の機能を駆使しつつ、他職種と連携・協働する姿勢を身につけた人 4 社会のニーズや変化に対応し、常に専門職者として生涯学習者の姿勢を身につけた人 <p>○卒業認定</p> <p>学則に定める当該学科所定の全ての科目に対し履修認定を受けている者に対して卒業判定会議の議を基に、校長がこれを認める。</p> <p>○ディプロマポリシー及び卒業認定基準の公表</p> <p>ディプロマポリシー及び「科目履修の認定・卒業に関する規程」を Web ページに公開するとともに、学生に対しても年度始めに説明を行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/anc/2019/gr_04.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校麻生看護大学校
設置者名	学校法人 麻生塾

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/aso/2019/finance_02.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/aso/2019/finance_03.pdf
財産目録	https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/aso/2019/finance_04.pdf
事業報告書	https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/aso/2019/finance_01.pdf
監事による監査報告（書）	https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/aso/2019/finance_05.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	看護専門課程	看護科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,045 単位時間/単位	1,889 単位時間 /単位	121 単位時間 /単位	1,035 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3,045 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		188人	0人	11人	138人	149人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 授業計画書（シラバス）は以下のとおり作成及び公表している。 ○教育課程（カリキュラム）の編成 前年度のカリキュラムの実施状況と成果の検証を行い、前年の6月に開催される、飯塚病院、福岡県社会保険医療協会等からなる教育課程編成委員会で授業方針や教育課程（カリキュラム）の内容、到達目標について意見を聴取し、その後行われるカリキュラム会議において、聴取した意見を基に討議し、教育理念・学科の目標、業界ニーズに照らし合わせ、次年度のカリキュラムを編成する。
--

<p>○授業計画書（シラバス）の策定 カリキュラム会議により確定したカリキュラムを基に、各授業科目担当が2月までに「学校法人麻生塾シラバス作成ガイドライン」に則り、授業計画書（シラバス）を作成している。シラバスには、授業目標・授業概要・授業計画・評価方法等を記載しており、履修する学生が各授業科目の内容と目標を理解し、主体的に学ぶことが出来るようになっている。</p> <p>○授業方法及び内容 授業は講義と演習を中心とする。授業は学習内容に応じて、シラバスに記載の授業外学習指示に基づき、事前の課題学習や事後の課題を含めて展開していく。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） 成績評価・単位履修認定については、学則及び「科目履修の認定・卒業に関する規程」等の定めに基づき実施している。</p> <p>○授業科目に対する成績評価 成績評価は、学科試験・実習評価に、出席状況・日常の学習状況・学習報告などを考慮して行う。学習状況については、随時行う筆記、口頭試問、レポート及び実技などのいずれか、又はこれらを総合したものとする。科目毎の評価方法は、シラバスに記載した評価方法に基づき行う。また、評価については、授業科目の「到達目標」に応じて、定期試験（追試験、再試験を含む）および学習状況を総合的に勘案した総合評価とする。特に定めがない場合、100点を満点として、60点以上を合格、60点未満を不合格とする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 本校では、教育理念を基にディプロマポリシーを下記のとおり定め、学則及び「科目履修の認定・卒業に関する規程」に基づき、適切に実施している。</p> <p>○ディプロマポリシー 本校では、教育理念および教育目標（育成人材像）を踏まえ、次のような人材を社会に輩出いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人間を統合された存在として理解した上で、倫理観に基づいた看護を実践できる人 2 科学的根拠に基づき、看護を計画的・効率的に実践できるよう探究心を身につけた人 3 看護の独自の機能を駆使しつつ、他職種と連携・協働する姿勢を身につけた人 4 社会のニーズや変化に対応し、常に専門職者として生涯学習者の姿勢を身につけた人 <p>○進級認定 学則に定める当該学年所定の全ての科目に対し履修認定を受けている者に対して進級判定会議の議を基に、校長がこれを認める。</p> <p>○卒業認定 学則に定める当該学科所定の全ての科目に対し履修認定を受けている者に対して卒業判定会議の議を基に、校長がこれを認める。</p>

<p>○ディプロマポリシー及び卒業認定基準の公表 ディプロマポリシー及び「科目履修の認定・卒業に関する規程」をWebページに公開するとともに、学生に対しても年度始めに説明を行っている。</p>
<p>学修支援等 (概要)</p> <p>○クラス担任制 各クラスに1名、担任を配置し、学生の出席状況の把握、修学支援、進路支援等を個別で行っている。</p> <p>○定期的な個別面談の実施 ポートフォリオ等を基に随時個人面接を実施し、休学者・退学者4年間連続0名のサポート体制を継続している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
60人 (100%)	2人 (3.3%)	58人 (96.7%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 株式会社麻生 飯塚病院			
(就職指導内容) 専門分野教育の統合として、臨地にて知識・技術を基に受け持ち患者様を通して看護の実際を習得する。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師国家試験			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
187人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 毎朝、担任によりホームルーム実施後、学生状況確認。全教職員で各学年の出席状況他の情報を共有。異常者については担任・主任・校長代行により迅速な学生本人ならびに保護者への連絡・面接実施。状況によりスクールカウンセラー等の活用により早期対応を実施している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護科	100,000 円	520,000 円	509,000 円	施設・設備費、実習服・ 教科書・教材費

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/anc/2019/self-assessment.pdf

学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
<p>○基本方針</p> <p>実践的な職業教育の質を確保するため、自己評価結果の客観性・透明性を高めるとともに、設置学科の関連業界、卒業生、保護者など学校と密接に関係する者の理解促進と継続した連携協力体制の確保により、学校運営等の改善を図るため、外部委員による学校関係者評価を実施し、結果を公表する。</p> <p>○評価項目</p> <ol style="list-style-type: none">1. 教育理念 (理念、目的、育成人材像)2. 学校運営 (運営方針、事業計画、運営組織、人事・給与制度、意思決定システム)3. 教育活動 (教育課程の編成・実施、目標設定、教育方法・評価、成績評価・単位認定、教育体制 教員組織、能力開発)4. 学修成果 (就職率、資格の取得率、退学率、キャリア形成)5. 学生支援 (修学支援、進路支援、学生相談、健康管理、経済支援、学生生活、保護者との連携、卒業生・社会人)6. 教育環境 (施設・設備、学外学習、インターンシップ、安全管理)7. 学生募集 (受け入れ方針、募集活動、入学選考、学生納付金)8. 財務 (財政的基盤、予算計画、監査、財務情報の公開)9. 法令遵守 (関係法令・設置基準の遵守、個人情報情報の保護、)10. 内部質保証 (学校評価、教育情報の公開)11. 社会貢献・地域貢献 (社会貢献・地域貢献、ボランティア活動)12. 国際交流 (留学生受け入れ、相談体制、海外留学プログラム) <p>○評価委員の構成</p> <p>保護者・卒業生・地域住民・企業関係者・高等学校関係者・教育に関する有識者で構成する。</p> <p>○評価結果の活用方法</p> <p>6月に開催される学校関係者評価委員会において、自己評価結果及び改善計画について説明した上で、委員からの意見・助言を求めている。</p> <p>7月以降、委員からの意見について、重点項目、評価項目毎に整理し、教育活動等へ具体的な活用について、校長代行を責任者として方策を策定し、次期重点目標設定、評価の改善活動に反映する。</p>

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
日本赤十字社 嘉麻赤十字病院 看護部長	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 3 年 3 月 31 日	企業関係者
福岡県立 嘉穂高等学校 校長	平成 30 年 10 月 1 日～ 令和 2 年 9 月 30 日	高等学校
看護科 卒業生	平成 30 年 10 月 1 日～ 令和 2 年 9 月 30 日	卒業生
看護科 保護者	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 3 年 3 月 31 日	保護者
飯塚市 民生委員	平成 30 年 10 月 1 日～ 令和 2 年 9 月 30 日	地域住民

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/anc/2019/hyoka.pdf
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.asojuku.ac.jp/iizuka/
--